

ニチジョウサハンジ13

～日常のあれこれを徒然なるままに～



4月1日
創刊!

今月のおすすめ

定価(本体0円+税)

目次

順番／タイトル

- 1 目次
- 2 まえがき
- 3 ホットドッグはいっかがですかあ～ (^O^*)
- 4 いつもよりズバリ言うわよ！
- 5 おじさん
- 6 衝撃！はいだしょうこ画伯のドラえもん(@@;) ぎょっ！
- 7 シンガーソングライター♪～θ(^0^)
- 8 鍋についての時代的考察('?) ほや？
- 9 まゝっ！！！！
- 10 ガンガン書かんか！！！！
- 11 【 関連書籍 】

まえがき

ユーモアや笑いは人生の強い味方ですね。

ユーモアは人生を楽しくし、笑いは人生を豊かにします。

笑う気持ちをいつも確保していきたいですねえ（笑）

ホットドッグはいつかがですかぁ～（^O^*）

d(^_^;)bコレが本当のホットドックって、どうよ？

ぎゃははは__（____）ノ彡☆ばんばん！

冗談は、さておき（汗）

ご存知マクドナルドの1号店がシカゴにオープンしたのは1955年。

どこよりもおいしく、どこよりも早く食べられるハンバーガー。

その味わいは、ハンバーガーの代名詞となりました。

1973年には「タイム誌」のカバーストーリーを飾り、「マクドナルドのハンバーガー」は、名実ともにアメリカ人の国民食になったのです。

アメリカン・フードといえば、ファストフードとか、マクドナルドとかいうイメージで、ハンバーガーという答えを連想する日本人も多いだろうと思います！

しかぁ～し！

これまで私がアメリカ人に質問してきた超個人的なデータによると、その答えは間違いなく★ホットドッグ★なのである！

誰がなんといおうと、アメリカン・フードといえばホットドッグなんです！（爆）

アメリカ人がどれくらいホットドッグ好きかというと、ハンバーガーの消費量を大きく上回る、年間に国民1人あたり73個、全体で200億個ものホットドッグが胃袋へと流れ込んでいるんですよ！

1939年イギリス国王ジョージ6世がアメリカを訪問した際には、ルーズベルト大統領は、アメリカの郷土料理としてホットドッグを振舞ったという調査結果もあります？

でですねえ～！

このホットドッグの誕生秘話には諸説様々あって、現在でもアメリカ人の間では、かなり熱気溢れる議論が繰り広げられています（本当かいな？）

今のところは、アメリカ史上常にライバル視を続けてきたNY（東京っぽい）とシカゴ（大阪っぽい）のどちらかの都市で、1900年代前後に生まれたというのが最も有力な意見であるそうです…。

そのホットドッグもアメリカの各地でそれぞれに特色があります。

シカゴ・ドッグは、ポーピーシードのふりかかったパンに、ポーリッシュ・ソーセージ、トマト、タマネギ、でっかいピクルス、ハラペーニョ、そしてケチャップなしで食べます。

また、ニューヨーク・ドッグは、シンプルなパンに、シンプルなソーセージ、タマネギ、マスタードで食べるんですね。

そして、サザン・ドッグは、パンに、フランクフルト、ザウアークラフト、タマネギ、キャロット、コールスローでこってりと食べるという風な違いがあるから驚きです！

まあ～そんなこんな事情ですから、アメリカに来たら、ステーキやハンバーガーも良いけど、ホットドッグを食わずしてアメリカン・フード語るべからず！なのでありまあ～す。

では、（@～～@）いただきまあ～す（笑）

いつもよりズバリ言うわよ！

女の一生？

モーパッサンとは、無関係？

珍言？

20代の女はアフリカ ー ー どこもかしこも熱い！

30代の女はインド ー ー 神秘的。

40代の女はアメリカ ー ー テクニシャン。

50代の女はオーストラリア ー ー エレガント。

60代の女はローマ ー ー 古代遺跡

70代の女はシベリア ー ー 誰も行きたがらない・・・

こんなの発見してしまいました・・・。

(;◇°) 言われてみると、確かに・・・。

男の一生は、現在調査中！

ちょっと、出かけてきます！

へ(;^^)ノスタコラサッサ

おじさん

標準和名：おじさん

学名：Parupeneus trifasciatus

分類：ヒメジ科

分布：駿河湾以南

解説：

サンゴ礁に普通にみられる。

下顎(したあご)に2本の長いひげを持つが、泳いでいるときは下顎のみぞにたたみこみ、海底でエサを探すとき、そのひげをせわしなく動かして小動物などを探して食べる。

ひげは舌の役目をして、味を感じることができる。

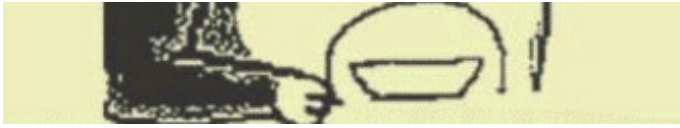
20cmとなり、食用となる。

これが、伝えたっかただけです(爆)

(+0+)中電気消さなきゃ・・・。

衝撃！はいだしょうこ画伯のドラえもん(@@;) ぎょっ！





NHKの『おかあさんといっしょ』の伝説のおねえさんこと、しょうこおねえさんの素晴らしき(?)才能が紹介されたものがコチラ↑の似顔絵?

とにかく楽しんで下さいませ(爆)

いつ見ても、笑い死にしそうだ_(┐┌)ノ彡☆ギャハハハハハハハハハハ!

シンガーソングライター ♪~θ(^0^)

晴れた日はちょっと鼻歌まじりに歩いていると ♪~(°ε°())フンフンフーン♪

何かいいことあるようで。

雨の日でもレインコート？に雨靴？に傘！で軽やかなステップ踏みながら・・・。

♪Singing In The Rain♪

♪Good morning♪

フンフーン・・・(¯ 3 ¯)~♪

こころのハミング♪

ことばのパズル。

作詞はわたし。

作曲もわたし。

題名は・・・。

・・・

『二度と歌えない』

ぐさり！—(|||| ` □' |||;:;)→ ショック！！！！

鍋についての時代的考察('_'?) ほや？

以前、後輩とくだらな話をしていたら、唐突に鍋の話題になり、ちょっと、盛り上がってしまいました！

鍋物をやると、やたらと仕切りたがる人がいる。

そんな人のことを揶揄して「鍋奉行」というのは聞いたことがあったのですが……。

手持ち無沙汰になるとアクをすくいだす「アク代官」てな奴もいたなあ～。

そうそう、自分では何もやらずただ待っているだけの「待ち娘」！

おおおお！

鍋に君臨し、他を寄せつけない鍋將軍もいるぞおおお！

そうそう、自己を主張せず、鍋奉行の采配どおりに盛られたものを大人しく口にする鍋庶民なんてのが多数派か？

好物はエノキダケ……だったりして（爆）

肉は、將軍と奉行と待ち娘がさらっていきます！（汗）

どこでも悪い奴はいるもので、鍋奉行の目を盗んで庶民の魚介までせしめようとする越後屋みたいなものもあるよな！

しかし、鍋世界も捨てたモノじゃないぞ！

一見遊び人風だが、越後屋の不正に我慢ならず、終盤に鍋奉行に転じ、悪を懲らしめる鍋の金さんも偶に登場しないかあ～？

鍋の世界って、人間的で華麗な文化を開花させた元禄時代と通じるものがあるなって結論に達した次第であります(/-)/??

まっ！！！！

ダンスの角に小指がゴッ！

この痛みを分かち合いあたいたい“o(><)o”くう～！

ガンガン書かんか！！！！

「ガンガン書かんか」と早口で10回言うと……。

なぜだか？

ラテンのリズムが聞こえてくるよ！

さあ！

言ってみよう！（笑）

ガンガンかかんか

ガンガンかかんか ガンガンかかんか

ガンガンかかんか

ガンガンかかんか | (ズンチャ……)

ガンガンかかんか | (ズンチャ)

ガンガンかかんか | (ズンチャコ)

ガンガンかかんか | ズンチャコ

ガンガンかかんか | ズンチャコ

ガンガンかかんか | ズンチャコ ズンチャコ

ガンガンかかんか | ズンチャコ ズンチャコ

ガンガンかかんか！ | ズンチャコ ズンチャコ

ガンガンかかんか！ | ズンチャコ ズンチャコ

ガンガンかかんか！！

ピーッ、ピーッ、ピーピーピーピーピー！

サンバッ！

ズンチャコ ズンチャコ ズンチャコ ズンチャコ ズンチャコ ズンチャコ ドコドコドッド

ガンガンかかんかガンガンかかんかガンガンかかんかガンガンかかんか

ガンガンかかんかガンガンかかんかガンガンかかんかガンガンかかんか

ガンガンかかんかガンガ・・・。

うわあああ！！

ほんとだあああ！！！（爆）

【 関連書籍 】

ニチジョウサハンジ 1 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/3285/read>

ニチジョウサハンジ 2 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/4119/read>

ニチジョウサハンジ 3 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/4120/read>

ニチジョウサハンジ 4 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/13007/read>

ニチジョウサハンジ 5 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/13307/read>

ニチジョウサハンジ 6 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/13327/read>

ニチジョウサハンジ 7 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/14330/read>

ニチジョウサハンジ 8 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/20345/read>

ニチジョウサハンジ 9 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/15613/read>

ニチジョウサハンジ 10 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/17226/read>

ニチジョウサハンジ 11 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/17666/read>

ニチジョウサハンジ 12 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/17700/read>

ニチジョウサハンジ 14 ～日常のあれこれを徒然なるままに～
<http://p.booklog.jp/book/91968/read>

ニチジョウサハンジ 15 ～日常のあれこれを徒然なるままに～
<http://p.booklog.jp/book/92689/read>

ニチジョウサハンジ 16 ～日常のあれこれを徒然なるままに～
<http://p.booklog.jp/book/93027/read>

ニチジョウサハンジ 17 ～日常のあれこれを徒然なるままに～
<http://p.booklog.jp/book/93031/read>

ニチジョウサハンジ 18 ～日常のあれこれを徒然なるままに～
<http://p.booklog.jp/book/93090/read>

ニチジョウサハンジ 19 ～日常のあれこれを徒然なるままに～
<http://p.booklog.jp/book/96907/read>

ニチジョウサハンジ 1 3 ～日常のあれこれを徒然なるままに～

<http://p.booklog.jp/book/17701>

著者 : bax

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/trafalgar/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/17701>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/17701>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ